

## 情報(2.1.1) A.情報開示

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

補助者/メンバーとして対応

#### ②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産関連情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の発信に関する情報収集/企画/実施/評価/報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産に関する発信情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの情報収集/企画/実施/評価/報告書作成(部分的なものを含む)を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの現状分析/改善を成功裡に行った。

#### ③重要性

#### ④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

#### ①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

#### ②法律

1. 情報開示関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の事項の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

#### ③実務

1. 情報開示に関する実務(例:広報、「知的資産・経営報告書」、IR、知的財産資産価値評価手法)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

#### ④技術

情報開示関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の初歩的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

#### ⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

## 情報(2. 1. 1) A.情報開示

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

担当者として対応

#### ②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産関連情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の発信に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産に関する発信情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの情報収集／企画／実施／評価／報告書作成(部分的なものを含む)を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの現状分析／改善を成功裡に行った。

#### ③重要性

#### ④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

#### ①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

#### ②法律

1. 情報開示関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の事項の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

#### ③実務

1. 情報開示に関する実務(例:広報、「知的資産・経営報告書」、IR、知的財産資産価値評価手法)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

#### ④技術

情報開示関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の基本的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる(例:社外への発信情報の原稿を作成できる)。

#### ⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

## 情報(2. 1. 1) A.情報開示

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

(部分的な)主担当者として対応

#### ②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産関連情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の発信に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産に関する発信情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの情報収集／企画／実施／評価／報告書作成(部分的なものを含む)を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの現状分析／改善を成功裡に行った。

#### ③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:自社全体の知的財産に関する意識を高めた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

#### ④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

#### ①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

#### ②法律

1. 情報開示関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の事項の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

#### ③実務

1. 情報開示に関する実務(例:広報、「知的資産・経営報告書」、IR、知的財産資産価値評価手法)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

#### ④技術

情報開示関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる(例:社外への発信情報の原稿を作成できる)。

#### ⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

## 情報(2.1.1) A.情報開示

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

指導者兼主担当者として対応

#### ②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産関連情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の発信に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産に関する発信情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの情報収集／企画／実施／評価／報告書作成(部分的なものを含む)を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの現状分析／改善を成功裡に行った。

#### ③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:自社全体の知的財産に関する意識を高めた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

#### ④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

#### ①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

#### ②法律

1. 情報開示関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の事項の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

#### ③実務

1. 情報開示に関する実務(例:広報、「知的資産・経営報告書」、IR、知的財産資産価値評価手法)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

#### ④技術

情報開示関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる(例:社外への発信情報の原稿を作成できる)。

#### ⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。



## 情報(2.1.1) A.情報開示

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

総括責任者として対応

#### ②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産関連情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の発信に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 自社の企業戦略に沿って、広報、経営その他社内(例:事業部門)への知的財産に関する発信情報(例:自社の知的財産戦略・方針)の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの情報収集／企画／実施／評価／報告書作成(部分的なものを含む)を成功裡に行った。
4. 自社の企業戦略に沿って、「知的資産・経営報告書」またはこれに類するものの現状分析／改善を成功裡に行った。

#### ③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:自社全体の知的財産に関する意識を高めた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

#### ④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

#### ①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

#### ②法律

1. 情報開示関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の事項の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

#### ③実務

1. 情報開示に関する実務(例:広報、「知的資産・経営報告書」、IR、知的財産資産価値評価手法)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

#### ④技術

情報開示関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる(例:社外への発信情報の原稿を作成できる)。

#### ⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

## 情報(2. 1. 1) B.情報収集・分析

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

補助者/メンバーとして対応

#### ②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集方針の企画/実施(例:ポートフォリオ分析, 特許マップを用いた企業・事業・製品・サービスの市場の動向と知的財産の関係分析)/評価/報告書作成(例:特許出願の基本方針, 目標)を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集の現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 知的財産戦略に関する情報収集/企画/実施/評価/報告書作成を成功裡に行った。
4. 知的財産戦略の現状分析/改善を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

#### ③重要性

#### ④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

#### ①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

#### ②法律

1. 情報収集・分析関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

#### ③実務

1. 情報収集・分析に関する実務(例:知的財産戦略理論, 各国の知的財産国家施策の動向, 技術経営, QFD(技術要素展開)等のマーケットリサーチ技術, ポートフォリオ分析, 特許マップ, 自社のマーケット情報, 他国への進出状況, 製品計画情報)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

#### ④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の初歩的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

#### ⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

## 情報(2. 1. 1) B.情報収集・分析

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

担当者として対応

#### ②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集方針の企画／実施(例:ポートフォリオ分析, 特許マップを用いた企業・事業・製品・サービスの市場の動向と知的財産の関係分析)／評価／報告書作成(例:特許出願の基本方針, 目標)を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産戦略に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 知的財産戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

#### ③重要性

#### ④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

#### ①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

#### ②法律

1. 情報収集・分析関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

#### ③実務

1. 情報収集・分析に関する実務(例:知的財産戦略理論, 各国の知的財産国家施策の動向, 技術経営, QFD(技術要素展開)等のマーケットリサーチ技術, ポートフォリオ分析, 特許マップ, 自社のマーケット情報, 他国への進出状況, 製品計画情報)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

#### ④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の基本的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

#### ⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

# 情報(2. 1. 1) B.情報収集・分析

## 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

### ①責任性

(部分的な)主担当者として対応

### ②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集方針の企画／実施(例:ポートフォリオ分析, 特許マップを用いた企業・事業・製品・サービスの市場の動向と知的財産の関係分析)／評価／報告書作成(例:特許出願の基本方針, 目標)を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産戦略に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 知的財産戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

### ③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:戦略の企画案が実際に採用され、実行された)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

### ④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

### ⑤その他

## 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

### ①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

### ②法律

1. 情報収集・分析関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

### ③実務

1. 情報収集・分析に関する実務(例:知的財産戦略理論, 各国の知的財産国家施策の動向, 技術経営, QFD(技術要素展開)等のマーケットリサーチ技術, ポートフォリオ分析, 特許マップ, 自社のマーケット情報, 他国への進出状況, 製品計画情報)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

### ④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的な事項を理解することができる。

### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

### ⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。



## 情報(2. 1. 1) B.情報収集・分析

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

指導者兼主担当者として対応

#### ②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集方針の企画／実施(例:ポートフォリオ分析, 特許マップを用いた企業・事業・製品・サービスの市場の動向と知的財産の関係分析)／評価／報告書作成(例:特許出願の基本方針, 目標)を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産戦略に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 知的財産戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

#### ③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:戦略の企画案が実際に採用され、実行された)。  
[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

#### ④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

#### ①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

#### ②法律

1. 情報収集・分析関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

#### ③実務

1. 情報収集・分析に関する実務(例:知的財産戦略理論, 各国の知的財産国家施策の動向, 技術経営, QFD(技術要素展開)等のマーケットリサーチ技術, ポートフォリオ分析, 特許マップ, 自社のマーケット情報, 他国への進出状況, 製品計画情報)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

#### ④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

#### ⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

## 情報(2. 1. 1) B.情報収集・分析

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

総括責任者として対応

#### ②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集方針の企画／実施(例:ポートフォリオ分析, 特許マップを用いた企業・事業・製品・サービスの市場の動向と知的財産の関係分析)／評価／報告書作成(例:特許出願の基本方針, 目標)を成功裡に行った。
2. 知的財産戦略に関連する社内外(例:技術部門)からの情報収集の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 知的財産戦略に関する情報収集／企画／実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
4. 知的財産戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

#### ③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:戦略の企画案が実際に採用され、実行された)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

#### ④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

#### ①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

#### ②法律

1. 情報収集・分析関連業務に必要な国内外の法律の改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

#### ③実務

1. 情報収集・分析に関する実務(例:知的財産戦略理論, 各国の知的財産国家施策の動向, 技術経営, QFD(技術要素展開)等のマーケットリサーチ技術, ポートフォリオ分析, 特許マップ, 自社のマーケット情報, 他国への進出状況, 製品計画情報)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

#### ④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:諸外国の知的財産関連情報)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

#### ⑥対人

1. 関係者(例:社内関連部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

## 情報(2. 1. 1) C.システム

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

補助者/メンバーとして対応

#### ②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 自社の知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの情報収集/企画(選定を含む)/実施(導入・保守運用を含む。構築の場合は部分的なものを含む)/評価/報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの現状分析/改善(例:法改正、自社戦略の転換等の前提条件の変化への対応)を成功裡に行った。

#### ③重要性

#### ④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

#### ①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

#### ②法律

1. システム関連業務の管理に必要な法律(不正競争防止法における営業秘密に関する規定、産業財産権法における手続きに関する規定、諸外国における手続きに関する規定)の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。

2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

#### ③実務

1. システムに関する実務(例:IT(特にデータベース)、インターネット上のリソース、業務用アプリケーション、出願支援・事務管理等の知財業務システム、自社知財部門の業務管理方法、システム選定の際の2次情報・3次情報のでき方)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。

2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

#### ④技術

システム関連業務に必要な技術(例:IT、特にデータベース)の初歩的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

#### ⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:ユーザーへのシステム利用方法の説明)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

# 情報(2. 1. 1) C.システム

## 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

### ①責任性

担当者として対応

### ②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 自社の知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの情報収集/企画(選定を含む)/実施(導入・保守運用を含む。構築の場合は部分的なものを含む)/評価/報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの現状分析/改善(例:法改正、自社戦略の転換等の前提条件の変化への対応)を成功裡に行った。

### ③重要性

### ④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導/助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

### ⑤その他

## 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

### ①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

### ②法律

1. システム関連業務の管理に必要な法律(不正競争防止法における営業秘密に関する規定、産業財産権法における手続きに関する規定、諸外国における手続きに関する規定)の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

### ③実務

1. システムに関する実務(例:IT(特にデータベース)、インターネット上のリソース、業務用アプリケーション、出願支援・事務管理等の知財業務システム、自社知財部門の業務管理方法、システム選定の際の2次情報・3次情報のでき方)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

### ④技術

システム関連業務に必要な技術(例:IT、特にデータベース)の基本的な事項を理解することができる。

### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

### ⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:ユーザーへのシステム利用方法の説明)。

### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。



## 情報(2. 1. 1) C.システム

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

(部分的な)主担当者として対応

#### ②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 自社の知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの情報収集／企画(選定を含む)／実施(導入・保守運用を含む。構築の場合は部分的なものを含む)／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの現状分析／改善(例:法改正、自社戦略の転換等の前提条件の変化への対応)を成功裡に行った。

#### ③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:小規模なシステムエラー等の発生に対して最短で是正して復帰させた。システムを長期間、安定稼働させた)。**[必須]**
2. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

#### ④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

#### ①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

#### ②法律

1. システム関連業務の管理に必要な法律(不正競争防止法における営業秘密に関する規定、産業財産権法における手続きに関する規定、諸外国における手続きに関する規定)の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

#### ③実務

1. システムに関する実務(例:IT(特にデータベース)、インターネット上のリソース、業務用アプリケーション、出願支援・事務管理等の知財業務システム、自社知財部門の業務管理方法、システム選定の際の2次情報・3次情報のでき方)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

#### ④技術

システム関連業務に必要な技術(例:IT、特にデータベース)の専門的な事項を理解することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

#### ⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:ユーザーへのシステム利用方法の説明)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

## 情報(2. 1. 1) C.システム

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

指導者兼主担当者として対応

#### ②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 自社の知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの情報収集／企画(選定を含む)／実施(導入・保守運用を含む。構築の場合は部分的なものを含む)／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの現状分析／改善(例:法改正、自社戦略の転換等の前提条件の変化への対応)を成功裡に行った。

#### ③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:小規模なシステムエラー等の発生に対して最短で是正して復帰させた。システムを長期間、安定稼働させた)。**[必須]**
2. 担当事業分野全体の規模で行った。

#### ④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

#### ①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

#### ②法律

1. システム関連業務の管理に必要な法律(不正競争防止法における営業秘密に関する規定, 産業財産権法における手続きに関する規定, 諸外国における手続きに関する規定)の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

#### ③実務

1. システムに関する実務(例:IT(特にデータベース), インターネット上のリソース, 業務用アプリケーション, 出願支援・事務管理等の知財業務システム, 自社知財部門の業務管理方法, システム選定の際の2次情報・3次情報のでき方)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

#### ④技術

情報収集・分析関連業務に必要な技術(例:担当事業に関する最新技術の動向)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

#### ⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:ユーザーへのシステム利用方法の説明)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

## 情報(2. 1. 1) C.システム

### 業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

#### ①責任性

総括責任者として対応

#### ②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 自社の知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの情報収集／企画(選定を含む)／実施(導入・保守運用を含む。構築の場合は部分的なものを含む)／評価／報告書作成を成功裡に行った。
2. 知的財産に関連する各種データベースまたは知財業務システム(出願支援、事務管理等)についてシステムの現状分析／改善(例:法改正、自社戦略の転換等の前提条件の変化への対応)を成功裡に行った。

#### ③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:小規模なシステムエラー等の発生に対して最短で是正して復帰させた。システムを長期間、安定稼働させた)。**[必須]**
2. 全社的規模で行った。

#### ④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

#### ⑤その他

### 業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

#### ①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

#### ②法律

1. システム関連業務の管理に必要な法律(不正競争防止法における営業秘密に関する規定、産業財産権法における手続きに関する規定、諸外国における手続きに関する規定)の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

#### ③実務

1. システムに関する実務(例:IT(特にデータベース)、インターネット上のリソース、業務用アプリケーション、出願支援・事務管理等)の知財業務システム、自社知財部門の業務管理方法、システム選定の際の2次情報・3次情報のでき方の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

#### ④技術

システム関連業務に必要な技術(例:IT、特にデータベース)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

#### ⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

#### ⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:ユーザーへのシステム利用方法の説明)。

#### ⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。